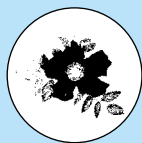
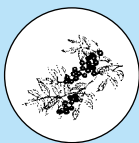


おこっぺ



町の花ハマナス



町の木ナナカマド

議会だより

第147号

平成29年2月15日

発行／☎098-1692 紋別郡興部町旭町 興部町議会

TEL (0158) 82-2135
FAX (0158) 82-2990

編集／議会広報特別委員会



藤朋流大正琴朋麻沙会

第4回町議会定例会 P2～4

臨時議会報告..... P5

町政ここが聞きたい..... P6～7

道外行政視察報告 P8～9

議員活動報告・編集後記 P10

平成28年 第4回 町議会定例会のあらまし

平成28年第4回町議会定例会は、12月16日(金)開会され、町長の行政報告、議案9件、発議8件、計17案件が審議されました。

町長行政報告

バイオガスパラント 建設整備事業

プラント建設工事については、10月30日に完成し、11月11日に検定を終了、施設の引き渡しを受け、去る11月29日落成式を挙行しました。施設は計画値を上回る能力で安定稼働しており、利用農業者及び町で組織しています興部北興バイオガスパラント利用組合において施設の維持管理を行い、発生したバイオガスを隣接する興部バイオエナジー社へ販売し、同社におい



興部北興バイオガスパラント

ては、順調に発電を行い北海道電力への売電も開始しています。

第六期総合計画の策定

平成20年度に策定した第五期の計画期間が平成29年度で終了することから、本年度より新たな計画の策定を進めるもので、11月21日に第1回「興部町総合計画策定審議会」を開催し、審議会に計画策定を諮問したところ。策定にあたっては審議会のご協力をいただき、現計画における施策の評価・点検を踏まえ、本年3月に策定した「興部町総合戦略」の重点施策を盛り込むとともに、多くの町民の意見を聞く機会を設けながら策定作業を進めていく考えです。

平成28年度臨時福祉、 障害・遺族年金受給者 向け給付金

消費税の引き上げによる

影響を緩和するため、所得の少ない方に対し、暫定的・臨時的な措置として給付される「平成28年度臨時福祉給付金(対象者一人につき3千円)」並びに、賃

金引き上げの恩恵が及びにくい所得の少ない年金受給者の方を支援するために給付される「障害・遺族年金受給者向け給付金(対象者一人につき3万円)」については、10月11日から来年1月13日までの間で申請受付を行い、順次、振り込みにより給付しているところ。なお、11月末現在の申請者数は、臨時福祉給付金が482人で申請率67・3%、年金受給者向け給付金が11人で50・0%となっています。

また、国の第2次補正で予算計上された新たな給付金として、消費税率引き上げまでの平成29年4月から平成31年9月分の2年半分を一括して支給する臨時福祉給付金(経済対策分)

(対象者一人につき1万5

千円)を、平成29年2月頃からの申請受付開始に向け準備を進めています。

中学校校舎の建設

9月15日に各工事の請負契約を締結し、10月21日に建設現場において、建設工事祈願祭を執り行ったところ。建築主体工事として、建物の基礎を地中で支える杭の埋設工事が11月18日に終了し、年明け以降に基礎工事に着手することになっています。



中学校建設工事

興部高等学校への 志願状況

11月下旬から12月上旬にかけて、興部・沙留中学校において、それぞれ三者面談が行われました。来年3月における両中学校の卒業予定者は、合わせて34名であり、現在興部中学校では13名、沙留中学校では3名、近隣の市町村からは15名の合計31名が興部高等学校を希望している。地元高校存続のため、一人でも多くの生徒が興部高等学校へ入学されるよう期待する。

農作物の作況

牧草は、一番牧草並びに二番牧草とも、ほぼ平年並みの収量となったが、二番牧草では悪天候や台風による収穫遅れと一部倒伏の影響により、栄養価や品質面の低下が懸念される。飼料用とうもろこしは、春先の低温で生育が遅れたが、夏の気温が平年より高く推移

したので、平年を若干下回る収量となっている。

生乳生産の状況

11月30日現在、前年同期を954t上回る5万557tとなっている。

林業関係の状況

植栽事業は、予定事業量をすべて工期内に完了し、下刈り・除間伐などの保育事業は、100%の進捗状況です。

漁業生産の状況

全体の水揚げ量は前年同期比720t増の9千612tとなり、前年同期比108%であり、主なものは、サケ定置網漁が11月30日終漁し漁獲量は、前年比35%減の1千648tとなり、水揚げ額は昨年同様キロ単価の高騰の影響もあり期待されたが、前年同期比19%の減です。ホタテ漁は10

月29日終漁し漁獲量は、前年比26%増の7千366tとなり、計画対比5%増です。底建網漁は、スルメイカ等の魚種を含めて、前年同期比45%減の、455tの漁獲量です。

建設工事の発注状況

11月30日現在、土木・水道工事、建築工事とも、予定工事につきまして全て発注済みです。

一般会計補正予算 (第4号)

補正額は、2億9千545万9千円を追加し、総額47億5千479万1千円とし、原案どおり可決した。

歳出の主なもの

○臨時福祉給付金（経済対策分） 900万円増
○畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業補助金 2億3千470万円増

○担い手確保・経営強化支援事業補助金 720万円増

特別会計補正予算

特別会計3会計で補正予算が提案され、原案どおり可決した。

○興部町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
補正額は、973万円を追加し、総額2億9千588万円とした。

補正内容は、各介護サービス利用増に伴う保険給付費等の増額。

○興部町介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）
補正額は、18万円を追加し、総額3千10万円とした。

補正内容は、施設用備品購入費等の増額。

○興部町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
補正額は、30万円を追加し、総額2億6千54万7千とした。

補正内容は、各事業の入札執行残及び修繕料・機械器具費の増額。

制定された条例

○興部町再生可能エネルギー発電設備設置促進条例の制定

○興部町農業委員会委員の定数を定める条例の制定
○町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例

○興部町税条例等の一部を改正する条例

その他議決された 案件

町公共施設指定管理者の指定について、原案どおり可決した。

○興部町福祉保健総合センターのうち老人デイサービスセンター及び高齢者生活支援ハウス部門
・指定団体名
興部町社会福祉協議会

意見書の採択

○国による子ども医療費無料制度の創設を求める意見書

提出者 小泉 優子議員

賛成者 佐藤 吉春議員

賛成者 矢野 幸三議員

賛成者 前田 義雄議員

賛成者 佐々木忠行議員

・子どもを安心して産み、育てることのできる社会の実現には、地方制度の安定化が必要であり、国の支援が不可欠であるため、「国による子ども医療費無料制度」を早期に創設することを求める意見書を提出。

○国民健康保険療養費国庫負担金の調整（減額）廃止を求める意見書

提出者 佐藤 吉春議員

賛成者 小泉 優子議員

賛成者 矢野 幸三議員

賛成者 前田 義雄議員

賛成者 佐々木忠行議員

・乳幼児医療費助成制度等の医療費助成制度に現物

給付方式を採用する地方公共団体が、国保国庫負担金が調整（減額）されないことを求める意見書を提出。

○「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書

提出者 竹内 清議員

賛成者 小泉 優子議員

賛成者 佐藤 吉春議員

賛成者 矢野 幸三議員

賛成者 前田 義雄議員

賛成者 佐々木忠行議員

・高齢者の実情に配慮し、さらなる患者負担増で受診抑制がおきないように、現行制度の継続を求める意見書を提出。

○全国規模の総合的なアイヌ政策の根拠となる新たな法律の早期制定を求める意見書

提出者 阿部 昭一議員

賛成者 藤渡 昭博議員

賛成者 松川 雄一議員

賛成者 竹内 清議員

・国が主体となった総合的なアイヌ政策を、全国を対象に推進していく法律の検討を進め、早期に制定することを求める意見書の提出。

○介護報酬の再改定を求める意見書

提出者 前田 義雄議員

賛成者 小泉 優子議員

賛成者 佐藤 吉春議員

賛成者 矢野 幸三議員

賛成者 佐々木忠行議員

・早期に介護事業所と介護労働者が充実したサービスを提供できるよう、介護報酬のマイナス改定を見直すことを求める意見書の提出。

○地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

提出者 佐々木忠行議員

賛成者 小泉 優子議員

賛成者 佐藤 吉春議員

賛成者 矢野 幸三議員

賛成者 前田 義雄議員

・地方議会における人材確

保の観点から、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を早急に実現することを求める意見書の提出。

○大雨災害に関する意見書

提出者 藤渡 昭博議員

賛成者 阿部 昭一議員

賛成者 松川 雄一議員

賛成者 竹内 清議員

・本年8月台風が相次いで上陸し、集中豪雨に伴う河川の氾濫などにより、全道各地で甚大な被害が発生している。この度の災害からの迅速な復旧と今後の防災対策に特段の財政措置等を求める意見書の提出。

○J R北海道への経営支援を求める意見書

提出者 松川 雄一議員

賛成者 阿部 昭一議員

賛成者 藤渡 昭博議員

賛成者 竹内 清議員

・地域住民の日常生活に重要な移動手段である鉄道を北海道において公共交

通機関としての役割を發揮できるようにJ R北海道の経営が自立できるように財政支援等を図ることを求める意見書の提出。



臨時議会報告

平成28年第3回町議会臨時会は、11月29日に開催され承認案件3件、議決案件7件が審議された。

専決処分を承認した案件

○平成28年度興部町一般会計補正予算

(専決処分第2号)

・補正内容は、建設中のバイオガスプラント貯留槽破損に伴う破損原因等の調査関連経費の増額で、補正額は、40万円を追加し、総額を44億3千136万5千円とし、原案どおり承認した。

○平成28年度興部町一般会計補正予算

(専決処分第3号)

・補正内容は、建設中のバイオガスプラント貯留槽

破損に伴う補修工事発注者負担の増額で、補正額は、600万円を追加し、総額44億3千736万5千円とし、原案どおり承認した。

○平成28年度興部町一般会計補正予算

(専決処分第4号)

・補正内容は、ふるさと応援寄附申込件数増加に伴う報償費等の増額で、補正額は、1千344万円を追加し、総額44億5千80万5千円とし、原案どおり承認した。

各会計補正予算

○平成28年度人事院勧告による国家公務員の給与改定に準じて各会計職員人件費を増額。

○平成28年度興部町一般会計補正予算 (第3号)

補正額は、852万7千円を追加し、総額44億5千933万2千円とし、原案どおり可決した。

○平成28年度興部町介護保険事業特別会計補正予算

(第2号)

補正額は、28万2千円減額し、総額2億8千615万円とし、原案どおり可決した。

○平成28年度興部町簡易水道事業特別会計補正予算

(第1号)

補正額は、25万7千円を追加し、総額2億6千24万7千円とし、原案どおり可決した。

○平成28年度興部町公共下水道事業特別会計補正予算 (第1号)

補正額は、791万円を減額し、総額2億3千855万円とし、原案どおり可決した。

改正された条例

○町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
○特別職の給料、報酬及び旅費並びに費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

○興部町教育委員会教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

主役はあなたです！

議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は3月です○

手続きは、傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけ

町政ここが聞きたい!!

問

興部高等学校の将来に向けた展望について

佐藤 吉春 議員

答

教育関係者等との熟議を通して進めて参りたい

山前 邦夫 教育長

答

来年度以降、町の協議事項として対応していきたい

碓 一寿 町長



佐藤議員

平成28年度第一

回町議会定例会の町政執行方針の中で、碓町長は「今後の町内の中学校卒業予定数は、平成30年をピークに20人台となることはつきりしている。」と述べられております。平成24年・25年のように入学者数20人を割る恐れがある、または割れた状態になった時、入学募集停止の事態が想定されます。平成24年から5年間

山前教育長

存続要件の

の教育行政執行方針で、山前教育長は「様々な支援策を講じ、間口確保対策協議会や教育文化振興会と連携を図りながら生徒数の確保や存続に向けて取り組んで参ります。」と定番の言葉で結んでおられますが、その中には興部高等学校の将来像が全く見えてきません。その「取組」とはどのようなものであるのかお聞き致します。

佐藤議員

教育長が云われた支援策の取組は、他の市や町と似通っており、対策

各種資格取得の検定受検料補助」等金銭的支援を中心に対策を講じて参りました。また、高校の教育活動周知の機関誌発行あるいは、高校生のボランティア参画を通じて、地域の方に地元へ高校があることの意義の考察等を進める取組などではありますが、まだ十分である事は認識しておりますので、教育関係者等との熟議を通して進めて参りたい。

や町と似通っており、対策になっているのか甚だ疑問があります。高校が無くなると言うことはその年代と、その親となる働き盛り

議会の動き

平成28年11月25日以降

11月25日 第3回広域紋別

病院企業団議会

臨時会

興部町商工会平

成28年度永年勤

続従業員表彰式

28日 オホーツク町村

議会議長会正副

会長会議

オホーツク町村

議会議長会役員

会

29日 興部北興バイオ

ガスプラント落

成式

議会運営委員会

第3回町議会臨

時會

議会全員協議会

オホーツク圏活

性化期成会J R

問題に係る意見

交換会

14日 議会運営委員会

第4回町議会定

例会

の年代の人々が町から急速に
いなくなり、定住促進ど
ころか高齢者率が上がりお
年寄りだけの町になる。平
成27年の国勢調査では、2
年も前倒しで4千人を切っ
ている現状の中、高校の存
続が地域に与える意義と、
人口減少の関係をどの様に
捉えているのかお聞きしま
す。

裕町長

私は高校が無
くなるから町がさびれるの
ではなく、産業力が減り雇
用力が減ってくるから学校
が無くなると思うておりま
す。結果的に無くならない
ようにする事が町づくりの
基本と捉え、地方創生の町
づくり総合戦略にも盛り込
み取り組んでいます。

佐藤議員

雇用力とは、地
域が自立しなければならな
いことで、学校が廃校にな
った場合、その校舎は地域
最大の空き屋となり、地域
全体の衰退となる。高校を
核とした地域づくりの取組
は早ければ早いほうが良
い。10月に行政視察をして

きた島根県の海士町は、高
校廃校の危機から脱出し、
今は2学級編成までなり、
又人口800人の1割が村
立高校生である音威子府村
が北海道にあります。興部
町も有識者や地域おこし協
力隊等活用した興部高校魅
力化プロジェクトを立ち上
げ、経済支援とは別な支援
をする考えは無いのかお聞
きします。

裕町長

新生児等の出
生数は非常に厳しい状況で
すが、滝上、西興部、雄武
町など町外からの生徒数で
20名の確保。

またキャンパス校の定員を
20人から10〜15人に落とす
方向が出そうです。従って
当面は大丈夫だろうと思っ
ておりますが、「その内に」
と云うことにはならないと
思いますので、当面は息が
続きますが時間をかけて検
討していきたい。

佐藤議員

質問の冒頭、最
近私の読んだ本で感銘を受
けた言葉を紹介させて頂き
ました。

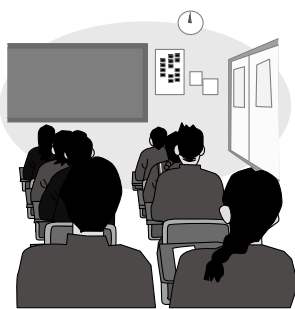
「人生の道はいつも一步が
機敏である。また、何かの
場合に普段の常識さえあれ
ば分かり切っている事を、
ふと心に間違いを写し取っ
てしまうために、その一步
が10年の間違いになったり
する。」所謂、その対策を
間違えたり、入り口で躓い
たりすると取り返しがつか
ないことになってしまおう
言うことです。さきほどお
聞きした「高校魅力化プロ
ジェクト」のお答えがない
ようなので再度お聞き致し
ます。

裕町長

今この場で「や
ります」と即答は出来ませ
ん。教育長とも相談し、間
口対策、また西紋教育文化
振興という組織もありその
中で、議員ご提案について
も十分検討させて頂いて、
来年度以降町の協議事項と
して対応していきたい。

佐藤議員

プロジェクトを
組んで頂けるのであれば、
早ければ早い方がよいと言
うことで質問を終わしま
す。



9〜10日	2月6日	26日	14日	6日	1月4日	22日	21〜22日	〃	〃
オホーツク町村 議会議長会役員 会・定期総会	議会広報特別委 員会	議会広報特別委 員会	興部町商工会 「歳末共同セー ル&スタンプラ リー」公開抽選 会	興部消防団出初 式	興部町成人式	紋別地区消防組 合議会定例会 西紋別地区環境 衛生施設組合議 会定例会	遠紋地区市町村 議会事務局長会 議	議会全員協議会	議会広報特別委 員会

道外行政視察報告

総務社会常任委員会は10月10日～14日の5日間、島根県海士町、大田市、邑南町の定住対策の取り組みを視察してきました。

①海士町視察報告

海士町は日本海の島根半島の沖合い約60kmに浮かぶ隠岐諸島の四つの有人島の一つです。一島一町の小さな島で、面積33・52km²、人口2030人、高齢化率40%、半農半漁の町です。

高校卒業後は殆ど島外へ流出、超少子高齢社会となり20歳代、30歳代の活力人口が減少し平成13年度には町の地方債101億5千万円となった。

平成14年町長選挙があり現在4期目となる山内道雄氏が町長となり「ないものはない」の名言がある。平

成14年自立促進プランを策定、「守り」の行財政改革として町長、職員、議員、教育委員、区長の給与カットをし、職員8人削減など

をした。老人クラブがバス料金優遇措置中止、補助金返上など町民も危機感を共有し住民意識も大きく変革

した。給与カットで生み出した資金を子育て支援などに活用した。「攻め」とは

地域資源を活用し、人づくり、モノづくり、健康づくり、地域再生計画を策定す

る、島まるごとブランド化、地産地商を計画。あらゆる支援措置を活用し、第一次産業の再生、産業興し

に取り組む。

都会の若者を町内に滞在させ若者の発想を取り入れ事業に転回させていく。建設業が畜産業を創設したり、海士町で獲れる農水産

物の加工、冷凍施設を建設、塩づくり、岩ガキ養殖など、法人、グループ、個人合わせ17の起業、島型ビジネスを展開している。人

づくりとして、実践的なまちづくり商品開発を通して地域づくりを担うリーダー

育成。高校生が企画する観光プラン「ヒトツナギ」を実現。全国から生徒募集などの活動

をしている。この様な事すべてに町は補助

している。若者、よそ者、馬鹿者がいれば地

域は動くとの信念で、町は進めている。

町内に長く住んでい

（記…総務社会常任委員会
委員長 小泉 優子）



②大田市視察報告

平成28年10月12日、島根県大田市に定住促進の取組について行政視察をしてきた。現在の大田市は、旧大田市と2町（温泉津町、仁摩町）が平成17年10月に合併し誕生した島根県のほぼ中央に位置している。年々人口減少、少子高齢化が進み高齢者率（平成22年国勢調査）は34・6%。平成27年度での国勢調査人口3万5千167人、平成22年比でマイナス7・4%。

そんな中、平成19年度から「第一次定住促進ビジョン」続いて、平成25年度から5カ年計画で平成30年度迄「第二次定住促進ビジョン」により数々の対策をたて近年成果を上げてきている。対策の概略を紹介すると1、推進体制を作り嘱託職員を配置。2、情報発信：インターネットその他の情報媒体を使い事業やツアー開催、補助制度の発信。3、就業支援：無料の雇

用・就業環境の整備と支援、その他定住財団との連携。4、居住支援…定住奨励事業、空き屋改修費助成、残存家財処分費助成。5、子育て支援…新婚さん住まい応援事業、子育て支援に関する事業等数々（成果／出生率1・87%）、その他きめ細かな支援や政策を数多く実施している。この視察の中で感じた特に重要な事は、定住促進に向けた「主要課題」を明確にすることと、「目標値の設定」である。そしてプロジェクトを立ち上げ人員を配置しているが、プロジェクトだけに押しつけず庁舎各課全体で意識を共有し取り組むことである。

大田市の定住促進ビジョンが興部町にそのまま適用出来ないが、興部町の定住促進の処方箋となるような政策を考え提案していきたい。



（記）総務社会常任委員会
副委員長 佐藤 吉春

③ 邑南町視察報告

邑南町は島根県中南部、広島県との県境に位置し、冬季は降雪がありスキー場がある。

平成16年3町村が合併し邑南町となる。合併時の人口は1万3千人。高齢化と人口減少で町の存続も危ういという危機感の中で平成22年「日本一の子育て村をめざして」という構想を立ちあげた。

その中核となる考え方は、0才〜18歳人口の確保。そのためには子供を生み育てる世代の移住、定住である。「子育てするなら邑南町で」というスローガンのもとUターン、イターンの移住、定住施策を大胆に進める。普通、行政は縦割りⅡ担当課毎の政策展開となる。しかし邑南町では「日本一の子育て村推進本部」を設置、農林・商工・水道・建設等の全ての課で、自分達で「子育て支援」のために出来る施策を

模索し提言、実践する体制である。Uターン、イターンの移住者には定住支援コーディネーターや定住促進支援員を4人配置して支援、ケアしている。「子供は未来の邑南町を担う大切な財産である」という考え方が地域に浸透、子育て世代が居る事で集落が維持される事例にもなつて来ている。

ちなみに邑南町の5年間の定住者は262人（うち児童は59人）出生数は407人。合計特殊出生率は全国平均で1・38、興部町は1・43、邑南町は2・07、2・15と確実に実績をあげマスコミ各社、NHK、TBS、女性自身、週刊朝日等で取り上げられ、全国か



ら行政視察が120組約1千200人位の研修がある。更に9月26日、NHKの「プロフェッショナル仕事」で町職員寺本英仁氏が「スーパー公務員」として放映された。

邑南町のもう一方の施策「A級グルメ」の取り組みで「A級グルメ」の商標登録と、量的に少ないため市場ルートに乗らない「和牛」等を一流シェフを誘致し、地元でグルメとして売り出す等の推進。

中国山地の山間の盆地集落での「まちおこし」。島根県は日本でも最も過疎化している。それだけに一生懸命である。

（記）総務社会常任委員会
委員 前田 義雄

議員活動報告

議会全員協議会

議長 山川 孝義
10月6日、11月29日、12月16日協議会を開催し理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行った。

10月6日

○興部北興バイオガスパラント建設工事現場における消化液貯留槽の破損に対する原因整理と補修方法の決定及び予算措置について

11月29日

○興部町危険空家等に関する対応について
○臨時福祉給付金（経済対策分）の支給について
○「民間活力を生かした賃貸住宅」の建設計画について

○興部町再生可能エネルギー発電設備設置促進条例（案）について

○水産物加工機器整備事業（トンネルフリーザー更新事業）について

○興部北興バイオガスパラント設置及び管理条例（案）について

○農業委員会等に関する法律の改正概要及び関連条例の制定について

○アスベスト使用公共施設の対応について

12月16日

○アスベスト使用公共施設の対応について

議会運営委員会

委員長 佐藤 吉春
11月29日、12月14日委員会を開催し次の事項について審議した。

過去の議会だよりを町ホームページに掲載しています！

過去の議会だより（第96号平成15年7月発行分から）を町ホームページから見るができますので、是非ご覧ください。

○町ホームページアドレス
<http://www.town.okoppe.lg.jp/>

11月29日

○平成28年第3回議会臨時会について

12月14日

○平成28年第4回議会定例会について

編集後記

2017年は酉年です。一年の初めである元日の朝も鳴くので大変縁起が良いといわれる動物です。

干支は昔の中国の「十干」と「十二支」を組み合わせたものです。

十干は木の幹が語源で五行（水、木、火、土、金）を陽と陰で表し、十二支は幹の枝を表していてそれぞれの順番を毎年繰り返して60年に一度訪れ、今年の干支は丁酉（ひつとり）です。酉のつく年は運氣や人を取り込み、商売繁盛につながると考えられます。

「酉」という漢字はもとからお酒を入れるとつくりから成り立っていて、成長や熟成をあらわしています。とつくり（酉）の中身になる酒は果実が極限まで熟した状態なので、今まで頑張ってきたものの成果があらわれる年との考え方があります。鳥は天の使いと

考えられ、幸運を運んでくれるラッキーアニマルです。中でもニワトリは五徳（分、武、勇、仁、信）がある神聖な鳥と考えられています。

これまで以上に良い運氣を取り込んだ、幸せな一年になりますようお願いいたします。

（記：阿部 昭一 広報委員）

広報委員長	藤渡 昭博
副委員長	松川 雄一
委員	阿部 昭一
委員	佐藤 吉春
委員	竹内 清
議会事務局長	日下 学
議会事務局主査	八木 実央

